

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立本庄高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	進学重視型単位制高校の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の現状や課題を踏まえて概ね適切に設定されているが、図書館の地域開放などが行われていることから、地域とともに歩んでいく学校であることも示す新たな学校像を模索していただくと更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。進学重視型単位制高校として新たなスタートを切り4年目を迎えたことから、改めて学校の現状や課題を把握し、中期的な視点からの改善を図るために、目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・年次が連携し、学校自己評価システムが運営されている。自学自習の習慣化や部活動と学習の両立など、重点目標を達成するための取組を推進するためにも、分掌・年次等の連携を更に強化し、教職員全体が参画するよう工夫することで、本システムを効果的に運営していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状や課題に基づき、評価項目の達成に向けた方策が策定されている。方策を具体化するとともに、評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から設定し、達成状況を確認する際などに、次年度の改善策の根拠が分かるように工夫することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に有機的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	前年度の学校自己評価や学校関係者評価、アンケート結果などを分析している。その分析結果を評価・反省に生かして、次年度の課題・改善策の検討を行うよう引き続き取り組んでいただきたい。	
特記事項			